

第 26 回 橋に関するシンポジウム



「鋼橋の維持管理～補修・補強技術の最前線～」

土木学会鋼構造委員会では、委員会活動の紹介、最新情報の発信、研究者・技術者の交流などを目的として、1998年より「鋼構造と橋に関するシンポジウム」、2020年から「橋に関するシンポジウム」を企画し、主に鋼構造物に着目した設計・施工・維持管理・点検・診断技術や新材料・新技術などの最新動向について話題提供を行ってきました。

近年、高度経済成長期に建設された構造物の老朽化が進み、土木施設の新設から維持管理へのシフト化が挙げられ、インフラメンテナンスの着実な実施に向け、既設構造物の強靭化・長寿命化の取組みへの投資は益々拡大しています。そのため、維持管理技術における補修・補強事例、新材料・新技術分野、設計・施工技術への関心も高まっています。

そこで、今回の橋に関するシンポジウムでは、「補修・補強に関する取組みおよび事例」において鋼構造物に着目し、最新の研究活動や事業の特性、高度な技術、工夫などについて報告いただくことを企画しました。

また、2023年2月6日にトルコ南部を震源とするM7.7およびM7.6の地震が発生し、トルコからシリアにかけて甚大な被害が生じました。現地被害状況の調査結果について報告いただきます。

1. 主 催：土木学会（担当：鋼構造委員会）

後 援：日本鉄鋼連盟、日本橋梁建設協会、鋼橋技術研究会、建設コンサルタンツ協会、

中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社（予定）

2. 日 時：2023年8月4日（金）10:15～17:20（予定）

（会場参加の場合 受付開始 9:30 受付終了 16:00）

場 所：法政大学 市ヶ谷キャンパス 富士見ゲート4階 G403教室

（東京都千代田区富士見2丁目17-1）

および、オンライン開催（Zoom ウェビナーによる配信予定）

3. 定 員：会場参加 200名、オンライン（Zoom）参加 250名 ※申込先着順

4. 参加費：会員 5,000円、非会員 6,000円、学生 無料

5. 申込み締切日:クレジットカード決済: 2023 年 8 月 2 日(水)
コンビニ決済: 2023 年 7 月 26 日(水)

6. 申込方法:土木学会 HP からお申込み下さい.

会場参加 <https://www.jsce.or.jp/events/form/252301>

オンライン参加 <https://www.jsce.or.jp/events/form/2523011>

**※参加形態区分にご注意の上、お申込みをお願いいたします。
決済完了後の変更及びキャンセルはできませんので予めご了承ください。**

7. 留意事項:

- ・感染症拡大状況により、対面の開催方式が変更となる可能性があります。

【対面参加者向け】

- ・当日は受付にてお名前をお申し出ください、参加券メール等の印刷は不要です。
確認後、論文集を受付にてお渡しいたします。(決済日問わず)

【オンライン参加者向け】

- ・入力頂いた住所に論文集を郵送いたします。
7 月 26 日(水)までに決済完了の場合、開催日前日までには到着予定です。
上記日時以降のお申込みの場合は開催後の発送になりますので予めご了承ください。
※コンビニ決済はタイムラグが発生する可能性があるため、7 月 25 日(火)までの
決済完了をお願いいたします、
・オンライン参加向けの Zoom 案内は開催日前日に参加申込時のメールアドレス宛に連絡予定です。

8. 問合先:土木学会研究事業課 鋼構造委員会担当事務局宛

MAIL momoi “at” jsce.or.jp (“at” を@に変更して下さい)

9. プログラム

- | | |
|--------------------------|------------|
| (1) 開会の挨拶(10:15~10:20) | 鋼構造委員会 委員長 |
| (2) 委員会活動報告(10:20~10:30) | 鋼構造委員会 幹事長 |

【トピック】

- (3) 2023 年トルコ・カフラマンマラシュ地震における橋梁の被害と挙動

愛媛大学 特定教授 森 伸一郎 様
(10:30~12:00)

~~~ 昼 休 憩 (12:00~13:00) ~~~

【基調講演】

(4) 鋼橋における疲労と腐食の損傷診断と適切な措置

琉球大学 教授 下里 哲弘 様  
(13:00~14:00)

【話題提供】

(5) 著名な歴史的鋼道路橋の補修・補強

~最新の技術と細心の工夫により,歴史的な価値を守りながら鋼橋を後世に繋ぐ~

一般社団法人日本橋梁建設協会 谷口 好信 様  
(14:00~14:30)

(6) 最大支間長 143m を有する曲線トラス橋の耐震補強(高知自動車道 曾我部川橋)

株式会社横河ブリッジ 宮定 龍司 様  
(14:30~15:00)

(7) 既設ダムゲートの安全性照査の合理化に関する検討

一般財団法人電力中央研究所 塩竈 裕三 様  
(15:00~15:30)

~~~ 休 憩 (15:30~15:45) ~~~

(8) 首都高速道路における鋼橋疲労対策

首都高速道路株式会社 佐藤 歩 様
(15:45~16:15)

(9) 鋼床版Uリブ・デッキプレート溶接部のルートき裂に対する維持管理に関する取組み

株式会社高速道路総合技術研究所 服部 雅史 様
(16:15~16:45)

(10) 鋼鉄道橋ソールプレート溶接部の疲労対策

西日本旅客鉄道株式会社 丹羽 雄一郎 様
(16:45~17:15)

(11) 閉会の挨拶(17:15~17:20)

鋼構造委員会 副委員長

以上